
中国情報（WTO/FTA・貿易・安全・その他）

2010年2月2日号

©2009年12月における中国のトウモロコシ市場観測情報

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2009年12月におけるトウモロコシ市場の観測情報について発表した。その概要は以下のとおりである。

※ この記事は、中国農業部の了解を得て、独立行政法人農畜産業振興機構が翻訳提供しているものです。内容の一部または全部を転載等する場合は、資料元が当機構によるものである旨を必ず明らかにして下さい。

1 国内価格は回復基調へ

2009年12月のトウモロコシの国内価格は、国家備蓄制度の影響により、前月は季節的な下落から一転して上昇に転じた。生産地域平均卸売価格は、前月比2.0%高の1トン当たり1,783元となり、消費地平均卸売価格は同1.7%高の同2,003元となった。

2 国際価格はやや下落

2009年12月の国際トウモロコシ価格は、10・11月の大幅に反発した市況から一転、やや下落した。米国メキシコ湾における2号黄色トウモロコシの平均FOB価格は、1トン当たり164ドル、前月比4.7%安、前年同月比3.8%高、シカゴ先物価格は同154ドル、同0.7%高、同13.6%高となった。年平均の同FOB価格は同166ドル、同26.0%安となり、同じく年平均の先物価格は同149ドル、同28.9%安となった。

3 トウモロコシの国内価格は、通関後価格を上回る

2009年12月の米国メキシコ湾における2号黄色トウモロコシFOB価格は、人民元換算で1トン当たり1,131元と国内産地トウモロコシ卸売価格に比べ652元安だが、通関後価格（CIF+関税等）は同1,916元で、同時期の国内トウモロコシの南方消費地港到着価格を同51元下回った。

4 1～11月累計輸入量は増加、輸出量は減少

海関統計によると、2009年11月の輸出量は前月比60.8%増の4,417トンとなり、一方、輸入量は前月比10.1%減の1.7万トンとなった。

2009年1～11月の累計輸出量は、前年同期比56.7%減の9.3万トン、累計輸入量は、同22.9%増の5.0万トンとなった。

5 2009/10年度の世界のトウモロコシ予想生産量は減少

国際穀物理事会（IGC）の2009年11月の予測によると、2009/10年度の世界のトウモロコシ生産量は、前年度比0.5%減の7.87億トン、消費量は同2.8%増の8.0億トンと予測されている。国際トウモロコシ生産量は、需要を若干下回り、貿易量は同1.2%増、期末在庫量は1.33億トン、在庫消費比率は16.8%と予測されている。